



# 日本とペルーの関係

ペルーは日本が中南米で最初に外交関係を樹立した国であり、ペルーにとっても日本はアジアで最初に外交関係を樹立した国です。

○外交関係樹立 1873年

○在留邦人数 3,130人 (2023年)

○在日ペルー人 49,114人 (2023年)

○貿易額 輸出 3,541億円

(主要品目 自動車、タイヤ、鉄鋼製品等)

輸入 1,116億円

(銅、石油、液化天然ガス、亜鉛等)

○進出企業数 68社

参考：法務省「在留外国人統計」  
財務省「貿易統計」





# 日本人のペルーへの移住と協力年表

ペルーは南米における日本人の最初の移住先で、組織的な日本人移住を最初に受け入れた国です。ブラジル移民に9年先立つ1899年に移住が始まりました。今日、約20万人の日系人がペルーで暮らしています。

1873年 日本とペルーの外交関係樹立

1899年 日本人のペルー移住開始（4月3日に横浜を出発）

1942年 日本との国交断絶

（太平洋戦争勃発による米国からの働きかけのため。52年に再開）

1958年 第1次東大アンデス地帯学術調査団派遣

（ペルー考古学分野への協力開始）

1989年 ペルー政府が4月3日を「日本ペルー友好の日」に制定

2023年 外交関係樹立150周年（佳子内親王殿下がペルーを訪問）

大村愛知県知事がリマ訪問

参考：外務省「ペルー基礎データ」

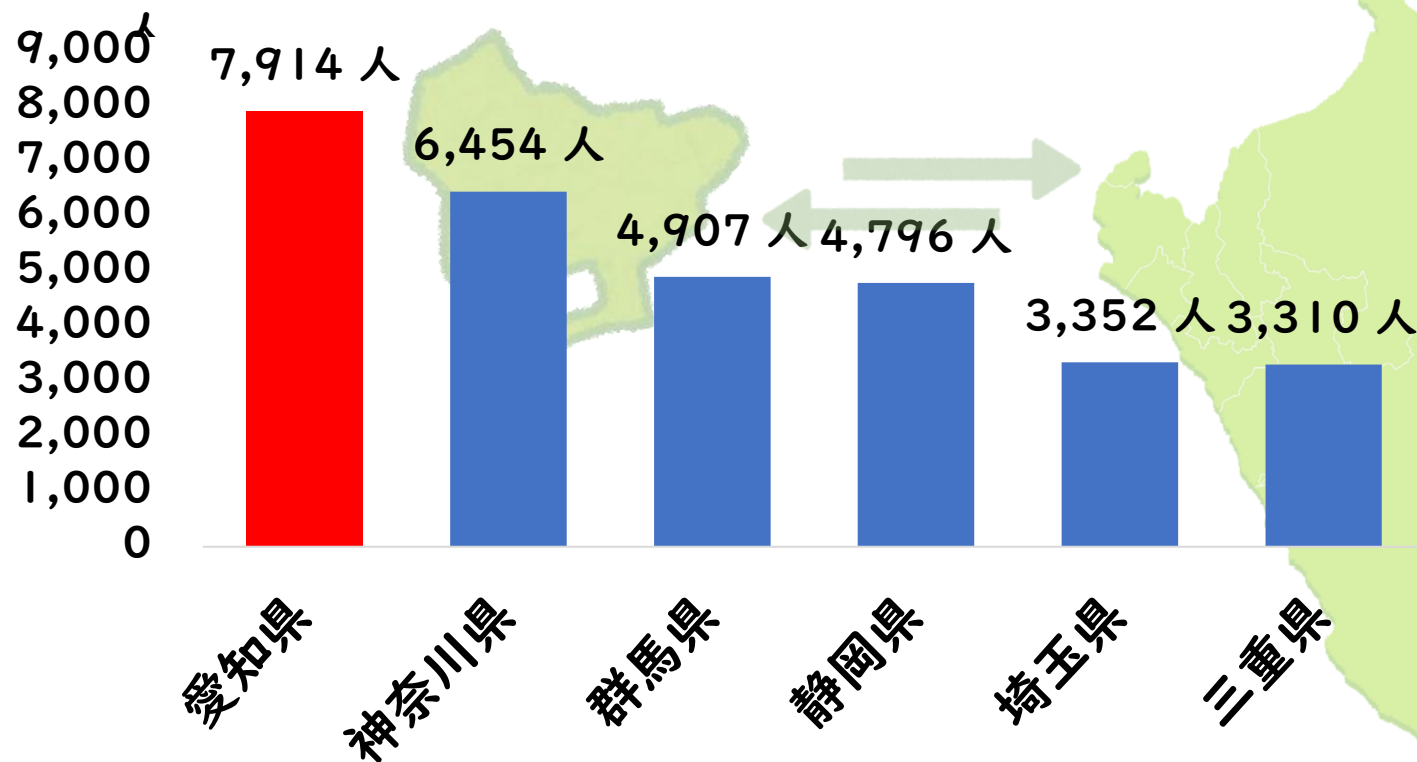
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/peru/data.html>



# 愛知県とペルーの関係

○在住ペルー人 7,914人 (2023年) 全国1位

参考：法務省「在留外国人統計」



在名古屋ペルー共和国総領事館  
ルイス・エスピノサ  
・アギラール総領事  
(5代目 2022年8月着任)

○在名古屋ペルー共和国総領事館

2008年2月正式開設 (2007年11月に仮開設)





# アイチ・ナゴヤ学校

## ○アイチ・ナゴヤ学校

1991年のフジモリ大統領の来県を機に、県、市、商工会議所、愛知県国際交流協会、名古屋国際センターが共同で「ペルー・フジモリ支援基金」を設立。約5,000万円をリマのスラム街における学校建設に寄付しました。

1992年3月に完成したアイチ・ナゴヤ学校では現在、小学生から高校生まで約1,400人が勉強しています。

2023年8月には大村愛知県知事が訪問しました。 参考：愛知県公式webサイト

## ○愛知万博出展

2005年開催の愛・地球博では、アンデス共同館においてアンデス・アマゾン地方の自然や文化を紹介しました。 参考：愛・地球博 Webサイト

<http://www.expo2005.or.jp/jp/>

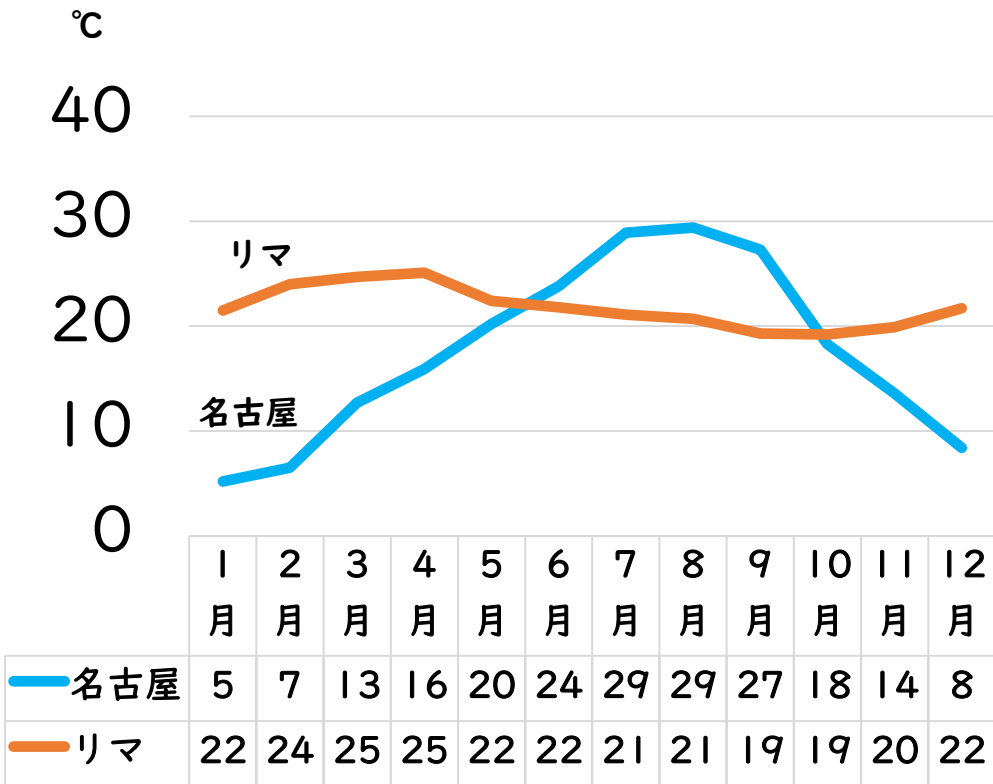




# 名古屋とペルーの気候



### 名古屋とリマ【ペルーの首都】の平均気温 (2023年)



### 名古屋とリマ【ペルーの首都】の降水量 (2023年)

